



ROTARY CLUB OF

NARITA AIRPORT MINAMI

DISTRICT 2790

WEEKLY BULLETIN

国際ロータリー第2790地区第6分区

成田空港南R.C. 会長テーマ
小さな親切

思いやり

創立 昭和41年10月6日
承認 昭和41年11月21日
例会日時 毎週末曜 12:30点鐘
(最終例会 18:30点鐘)
例会場 中国ダイニング富士屋
事務局 〒289-1732
千葉県山武郡横芝光町横芝1519-6
TEL 0479-80-1177 FAX 80-1178
URL <http://www.narita-airport-m-rc.jp>
E-mail info@narita-airport-m-rc.jp

第2790地区ガバナー 崎山 征雄 第6分区ガバナー補佐 進藤 義男

平成21年3月19日発行 NO.1883 第2011例会 会長 富 一美 会報担当 伊藤 元雄



例会報告(平成21年3月19日)

点 鐘 会 長 富 一美
ソ ン グ 「それこそロータリー」
唱 和 「四つのテスト」
会 長 挨拶 会 長 富 一美
会 務 報 告 会 長 富 一美
幹 事 報 告 幹 事 小林定雄
プ ロ グ ラ ム クラブ全体フォーラム

会長挨拶



みなさんこんにちは。

先の例会での渡辺孝文会員における新世代育成委員会のRYLAの報告は、会員の皆さんの奉仕に対するモチベーションを高める為にも、素晴らしいものがあつたと思います。

このRYLA(青少年指導者養成プログラム)とは、「地区内の若い人々とロータリアンが参加する地区プロジェクトであり、若い人々の指導者および善良な市民としての資質を伸ばすことを目的」としてあります。

そして、その東京芝増上寺におけるRYLA実行プログラムの、様々なカリキュラムに取り組む際に受ける感動など、その素晴らしさを会員の皆さん伝

えていただいて、ありがとうございました。

続いて、菅井会員からは、地区増強委員長として全国会員増強セミナーに出席して、ロータリーの基本についての講習を受けられ、その中で「ロータリーの会員もロータリーの変革についての勉強をしていかなければ、ついて行けない時代に入っている。そして、虫の目、魚の目、鳥の目の物の見方が必要であるとの、大きな気づきをいただきました。

続いて、山武警察署の片桐秀明様から「山武警察署管内の治安情勢について」と題して卓話をいただきましたが、有益な卓話であることは言うに及ばず、その卓話の冒頭に、卓話前の委員会報告等を聞いた上で、片桐署長曰く、「一人でも多くのロータリアンを増やすことが山武警察署管内の治安情勢を良くするためにも、非常に有益だと思います」と言っていました。ロータリーが倫理を提唱する団体であることを深くご理解していただいた上で、警察署長から直々にそのようなお言葉を頂いたということは、お世辞であっても大変喜ばしく思いました。今回の卓話の設定をしていただきました川島会員には、感謝を申し上げます。

以上のように、会員の皆さんには内容のある委員会報告や卓話などから例会の魅力を感じ取っていただけたら幸いです。

私の場合も、いろいろな方の物事の処し方、人の処し方、ものの考え方などを感じ取って来れたこと、それに加えて、地域での情報交換、社会での出来事についての意見交換なども非常に有益であつたと感じております。

続いて、本日は、この後クラブフォーラムを開催いたします。

主題と致しましては、インターシティーミーティ

ングにおける「子供達に光の当たる奉仕プロジェクト」と題しましての各クラブの発表を受けまして、当クラブの皆さんが感じた事、それによる反省点、そして今後の活動に対する取り組み方等をディスカッションしたいと思います。

尚、ここで言う子供達の「子供とは何歳までを指すのか」について、R I 日本事務局奉仕室の東川様にお伺いいたしましたところ、ロータリーの手続き要覧の子供の権利やロータリー章典などから、18歳未満との回答がございました。よって、18歳未満の子供達に光の当たる奉仕プロジェクトと解していただければ宜しいと思います。

そして、特にこの度の名称変更に伴い横芝地域に限定することなく、当クラブの区域内すべてを対象にしたものにしたいと思います。

続いて、二つ目は新クラブバナー作成に当たっての図柄について

続いて、その他について

最後に、時間があれば私の方から「CLPについて思うこと」をお話しさせていただきます。

是非、活発なディスカッションを期待したいと思いますので、宜しくお願い致します。

■ 会務報告

1. 成田空港南ロータリークラブお祝いの会並びに新入会員歓迎会について

名称変更に伴い、お祝いの会を行います。それと同時に新入会員歓迎会も兼ねて行ないます。

日 時：4月2日（木） 吾妻庵

点 鐘：午後6時30分

先の例会でもお伝えいたしましたが、これは特別な行事としての形式ではなく、クラブ内々で執り行うこととし、来賓として名誉会員である山武市長椎名千収様、横芝光町長佐藤晴彦様、芝山町長相川勝重様をお招きをする予定です。

2. 東京ロータリークラブへのメイクアップの件

皆さんには、すでにFAXでご案内の通知が届いていると思いますが、会員増強・退会防止委員会のイニシャティブの下、4月8日（水）に新入会員の皆さんには義務出席として、東京ロータリークラブへのメイクアップを企画いたしております。

■ 幹事報告

①米山梅吉記念館より館報vol. 13(2009年春号)が届いております。

②ハイライトよねやま109号（2009年3月13日発行）が届いております。

③週報受領クラブ

・大原R. C.



■ スポンサーピンの受領

当クラブは、3月までに純増4名の会員が入会されています。つきましては、7月7日のR I 会長主催会議で李東建会長が紹介されましたスポンサーピンを頂きました。

今後も更なる会員増強を推し進めたいと思っております。



スポンサーピンを頂きました。

委員会報告

◆ ロータリー人生哲学散歩の会について

世話人 富 一美

当クラブでの同好会がいろいろ作られております。その中で、ロータリー人生哲学勉強の散歩の会を、月1回位、例会後30分位の時間で行いますので、自由参加ですから興味のある方はよろしくお願い致します。

◆ 地区クラブ奉仕委員より

地区委員 菅井 直秀

ロータリー活動を地域密着型にして、ロータリーを理解してもらいましょう。日本の文化は元来静けさの文化（恥らいの文化）で、自然と一体となる文化です。音楽、書道、絵画、詩吟、踊り、小唄等。アメリカ文化（拝金主義）を見習う必要はありません。日本は、日本文化にあった道德運動のロータリーにすべきであります。

◆ 椎名鎌一郎会員より

新設横芝中学校に、生徒達の絵画等が展示されていますので、ぜひ皆さんで見に行ってくださいと思います。

◆ 森川忠会員より

近隣中学・高校の吹奏楽が盛んなので公演会の主催又は後援を提案します。

◆ 「ロッテ愛好会」より

担当 石田 喜一

6月2日（火）マリスタジアムに於いて予定されております千葉ロッテ対巨人戦を、パーティールームにての観戦を計画致しました。

詳細は後日ご案内致します。

会員・家族・友達等、皆様の参加をよろしくお願い致します。

参加費は13,000円位の予定で計画中です。

（バス代・観戦費・パーティールームにて食事・飲み物代）

2009-2010年度国際ロータリーのテーマ



ニコニコボックス

内田裕雄君

…（孫が大学を卒業しました）

渡辺晃君・富一美君・土屋俊夫君・石田喜一会員
・花澤英昌君

…（仕事多忙です）

小杉秀文君

…（次女が卒園しました）

高田一行君

…（ゴルフができません）

小林定雄君

…（春が気持ち良い）

越川忠君

…（なんとなく）

椎名鎌一郎君

…（体の調子が良い）

菅井直秀君・行木英夫君・森川忠君・伊藤元雄君
・鈴木恭一君・青柳誠君

…（仕事が暇です）

本日計	18,500円
累計	869,211円

出席報告



例会日	会員数	出席	MU	%
3月19日	46	27	9	78.3

☆ 欠席をしたらメイクアップをしましょう ☆

成田空港南ロータリー・クラブの皆さま

パストガバナー 白鳥 政孝

日ごろ皆さまには大変お世話になり感謝申し上げます。

この度、旧横芝ロータリー・クラブが発展的に解消し、成田空港南ロータリー・クラブに改名されましたこと、真に御同慶の至りでございます。会員皆さまの並々ならぬ日ごろの御尽力と熱意に深く敬意を表します。

まさに地区ロータリー・クラブのリーディングクラブの地歩を築き確実に歩まれています。

私の想像するところ、クラブの活性化の一手段としてCLPにいち早く関心を示し、内側からも、外側からもクラブの棚卸しを正確に実施した賜であると思います。棚卸しの結果、クラブの実態を冷静に分析し、今後、何をしていくかを真摯に皆で考え、検討され、果敢に実効されたことと思えます。

実に見事です。これはロータリー・クラブだけによい影響をもたらすだけではありません。会員の皆さまが、今回クラブで経験された「皆でやる」ことの素晴らしさを会員がそれぞれの職場で、地域できっと発揮されることと思えます。住みよい地域社会、働き甲斐のある職場に向けての大きな一歩でありと思えます。ロータリーが個人奉仕である所以であります。

もう一つあります。それは深遠なロータリーの理念の本質を見事に捉えていることでもあります。皆さまが行動された行為の基にロータリーの思想・哲学が裏打ちされていることでもあります。

20世紀初頭のロータリアンが、ロータリーの進むべき方向を、凄いい情熱を持って探求し、思想を語り、苦悩しながらロータリー哲学を確立したことに匹敵することです。先人の不易の思想を、今、成田空港南ロータリー・クラブの皆さまが引き継いでいることに感謝したいと思います。

現在、社会奉仕はロータリーの専権でなくなっています。各種慈善団体が多数あり、慈善事業を行っています。ロータリーも同じようなことをしていますが、ロータリーは他の慈善団体と違うことがあります。それはロータリーの職業奉仕の思想からクラブ内でお互いが切磋琢磨しあうことを

根底においていることです。そこで人間として、人として磨かれることです。ロータリーは人作りをするということが他の団体とは際立って違っていることです。この違いがなければロータリーの存在価値はなくなるのです。この点については、皆さまは十分にご承知のことと思えます。

しかし、敢えて述べますが、今、殆どのロータリアン、あるいはロータリー・クラブはこの違いを認識していないのではないかと危惧しています。その違いが、ロータリーにおいては比類ない質の高い社会奉仕活動や国際奉仕活動（ex; W C S、R財団奨学生派遣、R米山奨学生、R Y L A、青少年交換、G S E、マッチング・グラント、世界平和フェロー、ポリオ撲滅など多数あります）が展開されているのです。弱者救済ばかりでなく、人類の未来への投資、地球の未来への投資も積極的に行なっています。このような質の高い効果的な（崇高な）奉仕活動は全てロータリーの思想・哲学を会得しているところから実現されてきているのです。

だから、ロータリーは他の団体との違いを明確にすることが喫緊の課題となっています。

先日のP E T Sで財団とか米山、W C S、ポリオとかの寄付が強制であるとか、ないとかが議論されているのを聞くにつけ心寂しい思いがします。職業奉仕の理念の基にクラブ奉仕で培われた寛容の精神を以ってするならば、より一層地域社会や世界の困窮者に目を向け、関心を持つに至り、何かできるものはないかと思うようになります。結局、個々のロータリアンにロータリーの思いやりの心や洞察力が涵養されているか、否かに帰するのではないのでしょうか。自分では直接関与できないがロータリーの組織を通して奉仕活動に間接に参加しているということに誇りをもちたいとおもいます。

今日、成田空港南ロータリー・クラブのホームページを拝見いたしました。実に良い出来栄です。ロータリー章典を利用させていただきました。つい皆さまにお祝いしたいと思いメールを利用したのですが、つい長たらく書いてしまいました。（悪い癖ですね）どうぞ悪しからず、ご一読願えれば幸甚でございます。

成田空港南ロータリー・クラブのご発展と皆さまの会社のご繁栄を祈願しつつ、お祝い申し上げます。